



Japanese Association of Homecare for Pressure Ulcers and Wounds

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会

2016 年度関東・甲信越地区 床ずれセミナー

理事長 大浦 武彦(褥瘡・創傷治癒研究所 所長)
全国会長 中村 義徳(天理よろづ相談所病院 在宅世話どりセンター長)
地区会長 岡田 克之(桐生厚生総合病院 皮膚科診療部長)

全国テーマ

『在宅でも施設でも病院でも、 やる・できる・つながる褥瘡創傷ケア』

< ご挨拶 >

長期臥床の高齢療養者の背中や臀部、腰部そして踵などに床ずれが多発している、といった悲惨な光景を目にすることは、近年、激減しました。ひと頃のように、命を脅かすような床ずれに遭遇することも減りました。しかし一方、小さいけれど、なかなか治らない床ずれも少なくありません。治っては再発し、逆戻りのように悪化する、そうした落胆はどうして起こるのでしょうか。

床ずれに限らず、広く「キズ」のケアで大切なことは、まず「どんなキズなのか」をよく見ることです。「現場の状況を確認し、キズを直接見て、触ってみる(現場主義)」、そして、どんな状況でそのキズが発生し、あるいは悪化し、あるいは治りにくいのか、状況証拠を整理しヒントを得ることです。そのキズの、そもそもの「原因」はなにか、さらに、キズの原因ではないけれど「誘発・悪化・遷延要因」は何であるかを、推測することです。加えて、「原因は最大の誘発・悪化・遷延要因である」ことも肝に銘じなければなりません。検査機器は役立ちますが、まず、観察力と推理力を発揮することです。

一方、キズの治癒に関係する要素はたくさんあります。例えば栄養法、ドレッシング法、外用薬療法、物理療法、ベッドや車椅子やマットレスなどの福祉用具、さらにはポジショニングや移動・移乗の方法、リラクゼーションの方法など、どれもないがしろにはできません。突拍子もない話に聞こえるかもしれませんが、(がん)緩和ケア療法も無関係ではありません。床ずれの裾野は広く、それを切り口に、在宅医療のあらゆることに関心領域が広がります。

近年は種々の道具や材料や環境は整ってきました。ただ、「もの」は整ったとしても、それを実際に動かす「ひと」に問題があれば、うまくいきません。家族(介護人)も含め、在宅に関わる方々の、それぞれの地域における職種を問わない質の高い連携と協働(多職種協働)が叫ばれる理由がそこにあります。介護保険法が施行されて15年、地域包括ケアシステムの構築に向けての関係各位の努力のおかげで、状況は良くなってはいます。しかし、まだまだ課題はあります。より良い在宅褥瘡創傷ケアのために活発な議論が交わされることを期待します。

2016 年度 全国会長 中村 義徳

【日時】: 2016年11月12日(土) 10:00~16:00 (受付 9:30 開始)

【定員】: 200名

【対象者】: 医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、
介護支援専門員、介護福祉士、ヘルパー、福祉用具専門相談員、一般、学生、他

【参加費】: 会員 1,000円 / 非会員 3,000円 / 学生 1,000円

【会場】: 群馬県看護教育センター (〒371-0007 群馬県前橋市上泉町 1858 の 7)

【後援】: 群馬県、群馬県医師会、群馬県看護協会、群馬県訪問看護ステーション連絡協議会
群馬県栄養士会、群馬県薬剤師会、群馬県介護支援専門員協会

※本セミナーは日本褥瘡学会認定講習会です。

2016 年度関東・甲信越地区テーマ 「在宅だからこそその褥瘡連携 ～今ここにいる皆さんがリードを！～」

関東・甲信越地区 床ずれセミナープログラム(予定)

9:30	受付開始	
10:00～10:05	開会の辞	地区会長 岡田 克之（桐生厚生総合病院 皮膚科診療部長）
10:05～10:25	講演1	「在宅でも施設でも病院でも、やる・できる・つながる褥瘡創傷ケア」 中村 義徳（天理よろづ相談所病院 在宅世話どりセンター長）
10:25～11:05	講演2	「褥瘡メカニズムを医療工学から考える」 大浦 武彦（褥瘡・創傷治癒研究所 所長）
11:05～11:45	講演3	「発生のメカニズムから予防対策まで『床ずれケアナビ電子版』を活用しよう！」 堀田 由浩（統合医療希望クリニック 院長）
11:45～12:00	休憩	
12:00～12:50	ランチョンセミナー	「在宅でできる栄養管理」（共催：株式会社明治） 田村 佳奈美（かとう内科クリニック 管理栄養士）
12:50～13:15	休憩	—企業展示見学—
13:15～14:15	実習	「床ずれ予防のための姿勢管理」 下元 佳子（生き生きサポートセンターうえるば高知 代表）
14:15～14:25	休憩	
14:25～15:55	グループワーク	「WHO AM I？」 松村 俊和（株式会社ガイアシステム 取締役副社長）
15:55～16:00	閉会の辞	2017 年度地区会長 藤原 浩（新潟大学地域医療教育センター 特任教授）

※昼食はご用意させていただきます。

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル 9 階

株式会社 春恒社 学会事務部内 TEL：03-5291-6231 FAX：03-5291-2176

※詳細は予告なく変更されることがございます。適宜協会ホームページでご確認ください。

協会ホームページ URL：<http://www.zaitaku-jokusu.info/>



【会場】

住所：群馬県前橋市上泉町 1 8 5 8 - 7

電話：0 2 7 - 2 6 9 - 5 5 6 5

○JR 新前橋駅からタクシーで約 3 0 分

○JR 前橋駅からタクシーで約 2 0 分

○上毛電鉄赤坂駅または心臓血管センター駅から徒歩 2 0 分

【駐車場】

会場には無料駐車場がございます。

(300 台程度駐車可)

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会

2016 年度関東・甲信越地区床ずれセミナー申込書

申込先 FAX：03-5648-6640 申込締切日：11月2日（水）

※FAX 番号を必ずご記入ください。申し込み受付後、整理番号を FAX にて返信します。

関東・甲信越地区 11月12日（土）		整理番号 *事務局記入欄	
参加費	会員 1,000円 / 非会員 3,000円 / 学生 1,000円 *当日、受付にてお支払いください		
会 員 非 会 員	<input type="checkbox"/> 会 員 ※ (会員番号：HC) <input type="checkbox"/> 非 会 員 <input type="checkbox"/> 当日に会員になる (いずれかをチェックして下さい)		
コアスタッフ	<input type="checkbox"/> 登録している <input type="checkbox"/> 登録していない (いずれかをチェックして下さい)		
氏 名	しめい ふりがな		
勤務先名	勤務先部署名		
勤務先住所	〒		
勤務先 TEL	勤務先 FAX		
自宅住所	〒		
自宅 TEL	自宅 FAX		
E-mail	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自 宅 (いずれかをチェックして下記に記載して下さい)		
発 送 先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自 宅 (いずれかをチェックして下さい)		
職種分類 (いずれかを チェックして 下さい)	<input type="checkbox"/> 医 師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> WOC <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> PT <input type="checkbox"/> OT <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input type="checkbox"/> 介護福祉士 <input type="checkbox"/> 訪問介護員 (ヘルパー) <input type="checkbox"/> 福祉用具相談員 <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)		

※ 今回提供頂きますデータは個人情報でございます。
日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会の活動及び役員会が必用と認めた事業以外に使用致しません。